

建設業と24年問題 (今を生きる職人達)

建設業の就労者数は、97年の685万人を頂点として現在は、465万人と激減している。

その要因は、主に資材高騰による倒産と団塊世代の高齢化による廃業であること。

子供たちのなりたい職業が大工だったのは遠い昔の話である。

慢性的な人手不足と資材高騰に喘ぐ建設業界に「24年問題」と言われるさらなる試練が迫っている。

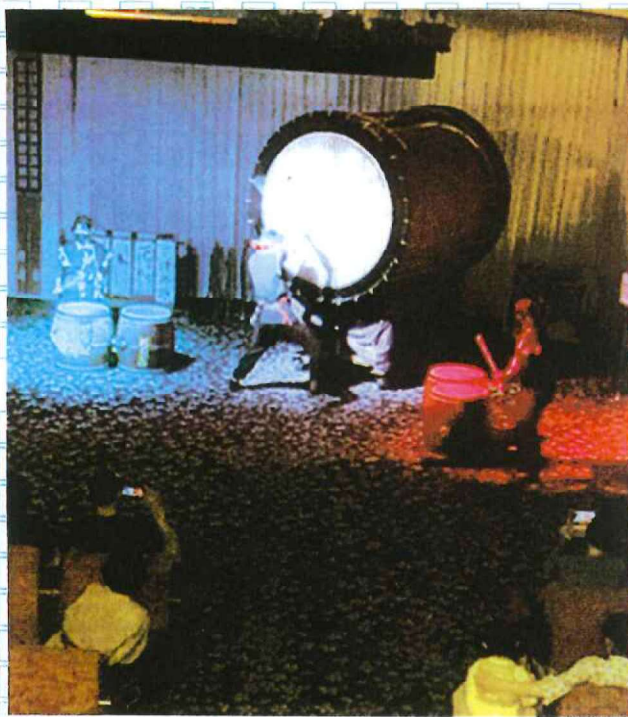
残業規制は、労働者の命と健康を守る為に必要なことだが、同時に建設業にとっては存続にかかわる大問題でもある。

この業界は、巨大ゼネコンを頂点とするピラミッドのようなもので、元請けから孫請けへと延々と搾取を受けながら関係が続いている。

25年には、建築基準法の改正により省エネ適合基準の適合義務化が始まり、さらに住宅価格が上がる。

これも零細企業にとって逆風となる。

その為に今を生きる職人達が犠牲にならぬよう国には万全の対策を講じてもらいたい。



ホテル主催の太鼓ショー

四月十三日(土)十四日(日)阪神支部出張幹事会を開催しました。土曜日の午後支部事務所に集合して岡山県鷺羽山に向けて出発。二時間程で目的地の鷺羽グランドホテル備前屋甲子に到着。15時から17時まで4月度の幹事会を行いました。そのあとは皆が楽しみにしていた宴会、ちようど食事の時間に合

記 本田 祐貴 わせての太鼓演奏を堪能出来ました。翌日は倉敷市にある旧野崎家住宅を見学。野崎家は製塩業と新田開発で財をなした民家で、敷地面積は三〇〇〇坪、延床面積は一〇〇〇坪近くあります。そのあと倉敷駅周辺で各自買い物などを楽しんで自由時間を過ごしました。

支部出張幹事会

岡山県 倉敷へ

